

今年もがんばります！ みなさま、よろしくお願いいたします

たかがい恵美子 参議院議員



2年ぶりの冬の陣では全国各地で、日本看護連盟会員が大活躍しました。大変お世話になり、ありがとうございます。

残念な結果に終わった秋の臨時国会

準備万端で臨んだ秋の国会は、歯車のかみ合わない毎日でした。政策論争とは次元の異なる話題に翻弄されて、必要な法案審議が滞り、丁寧な作業が徒労に終わりました。

中でも衆議院の厚生労働委員会は、

すでに他の委員会で処理済みの話題を野党理事が俄に取り上げ、それを理由に予定されていた審議を行わないことや、総理入りで審議する時間帯に野党委員が全員退席するなどの暴挙が繰り返されました。

解散総選挙となった結果、審議中の内閣提出法案をはじめ、当方が今年最も期待を込めて創り上げてきた参議院議員立法『女性の健康の包括的支援に関する法案』等、数々の提出法案が廃案となりました。理屈では説明のつかない物事を治める場なのだということに改めて実感する機会でもありました。

今年も女性の健康に関する政策に取り組みます！

国会の様子とは裏腹に、秋以降、党



前任の高鳥衆議院議員との引継式



参議院財政金融委員会

の都道府県連や女性局、先輩議員の後援会から、女性の健康に関する政策について話を聞きたいというリクエストが増えています。地域に根ざした活動をしている立場からすれば、このテーマがとても重要で関心の高い事項なのだということを、日増しに強く感じるようになりました。

幸い、政府の一員として厚生労働省に籍をいただいておりますので、来年度以降の事業の組み立てにおいて、これまで考えてきたことをしっかりと盛り込めるよう、具体的な事業にまで踏み込んで、提案しています。その後ろ盾となる論理的な整理をする目的で、2つの特別研究事業もスタートさせました。加えて、各地での普及活動やロビーイングも続けてまいります。

現代日本の女性の平均寿命は86年を

施策の提案をしています。

テレワークの看護での利用にも期待

10月27日には、ITC企業および関連団体によるテレワークウィークイベントにゲスト出演しました。テレワークという新しい働き方の普及・開発については、5月9日に党としての政策提言を公表し、官邸で菅官房長官に内容を説明したばかりでしたが、その中で提唱したことが、さっそく実現した格好です。11月13日には総務大臣に結果を報告し、今後の支援についてお願いをしました。16日にお邪魔した射水市民病院では、在宅療養を実現するための最先端の遠隔診療システムを視察し、ますます夢が膨らむ思いでした。

先人たち、先輩方の熱い思いに触れた一時

9月9日、秋篠宮妃殿下ご臨席のもと開催された第60回記念全国盲女性研修大会に参加しました。敗戦後の厳しい生活環境下でいち早く視覚障害者の福祉向上と自立支援を求めるために立ち上がった女性たちの熱い思いに触れ、とても感動しました。私たち看護界においても、先人たちの高い志と強い覚悟に支えられ、後輩たちの今が築き上げられています。

そしてまた、11月29日には訪問看護サミット2014に参加させていただきました。こちらは日本訪問看護財団設立20周年の式典でした。黎明期からコツコツ実践を重ね、健康保険制度上



厚生労働省内での会議



自民党本部と外部会談室を結びテレワーク・イベントにゲスト出演



富山県射水市民病院を訪問



訪問看護サミットの記念式典



大臣政務官として長時間労働削減について関係団体に協力要請



参議院東日本大震災復興特別委員会

超えています。その生涯にわたる健康リスクに着目し、適切に包括的な支援を行うための法的基盤を創ることは、政治の責任ですから。

看護の視点から働く女性のための施策を提案してまいります

大臣政務官に着任後、3か月足らずでの解散でしたが、この間に大臣をトップとする政策立案の本部が、省内に

で年齢制限なく実施できるようになったのが平成6年でした。地道な実践の積み重ねが新しい領域を拓き、少しずつ浸透して、いよいよこれからは定着の時代を迎えるようになると確信しています。

毎日が感激・感動の繰り返し。ひとつひとつの出来事に思いを込めて、一度ごとの出会いに感謝して、今年もがんばります。

ひと息つく暇もなく年末年始に突入された方も多いこと存じます。会員のみなさまのご活躍と、ご多幸を祈念しております。でも、くれぐれも御身大切に。

今年もよろしくお願いいたします。